



宗岡二小だより 3月号



学校教育目標

- よく考える子 (知)
- やさしい子 (徳)
- たくましい子 (体)

令和3年3月1日(月)
 志木市立宗岡第二小学校
 志木市上宗岡3-13-1
 TEL048-473-2305
 HP <http://www.mune2syo.ed.jp/>

夢 っ ぱ い 笑 顔 っ ぱ い 元 気 っ ぱ い

「よく考える子」

校長 島村直人

春なお浅く、朝夕はまだまだ冷え込みが厳しい季節ではありますが、今年度も残すところ1月となりました。よく、「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉を聞きますが、新型コロナ対応で始まった令和2年度は、すべてに関して今までの積み重ねが生かせない、新たな発想で工夫を繰り返しここまで「一気に走り抜けてきた」が、正直な感想です。そのような中ですが、宗岡第二小学校も令和4年度には開校50周年を迎えます。そこで、学校教育目標について繙くことがあり今回少し振り返りました。

現在の学校教育目標は「よく考える子」「やさしい子」「たくましい子」の3つの柱です。宗岡第二小学校はこれらの達成に向け日々教育がすすめられています。その一つの『よく考える子』について見てみると、今から49年前の学校教育目標にも「明るく元気な子ども」「仲の良い子ども」「よく考える子ども」「すすんでやりぬく」の、3番目の目標として、開校から一貫して変わらない目標として「よく考える子」があります。時代が流れても、「よく考え、正しい判断ができ、実践することのできる人」となってほしいという願いがその根底から感じることができます。

今の社会は、価値観が多様化し、変化がいつ起きても不思議でない状況にあります。どんなに周到に準備、訓練していても、「想定外」の一言で片づけられてしまうことが、日常的に起きる世の中となりました。だからこそ、これからの時代を生きていく子どもたちに、これまで以上につけてほしい力が、考える力です。「どうすることが良いことなのか」事にあたって考えることができる人は、どんな困難に当たっても、臨機応変に切り抜けることができます。文部科学省からも**変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちには、「生きる力」とそれを判断するための「確かな学力」を育むことが必要だ**とされています。

宗岡第二小学校の児童には、これからの社会がどんなに変化し予測困難な時代になっても、「自ら課題を見付け」、「自ら学び」、「自ら考え」、「判断して行動し」、それぞれに思い描く幸せを実現できる力をもって卒業してほしいと願っております。



宗岡マスコット
宗岡っぴー

学校・家庭・地域のコミュニティ『親子ふれあい田んぼ』協力し合って27年目